

3 度目の香川大学に

教育・昭和 61 年卒 山本木ノ実

この度、香川大学教育学部で 3 度目のお世話になります。

1 度目は学生時代。当時「理科病棟(?)」と呼ばれていた 1 号館の化学研究室で 4 年間お世話になりました。物理・化学・生物・地学の 4 研究室の強いつながりは今でも忘れません。中でも、西宝寺で夜通し行われた「方針」「総括」という訳のわからない元祖ディベートや飲み会は、4 研のつながりを一層強くさせるものでした。そして、11 月の大学祭前日には仮装行列をして丸亀町商店街を練り歩き、最後は 1 号館前の堀に飛び込む…。先日、久しぶりにその堀を見て、「こんな所に入っていたなんて!」と思わず絶句してしまいました。学生にしかできない、理科研究室だからこそできた懐かしい思い出です。当時の同級生たちの多くは、今は管理職や指導主事になっており、まじめに話す姿に当時の面影がだぶってしまい、ついにやけてしまうこともあります。

2 度目は人事交流教員時代。平成 19 年度から 3 年間お世話になりました。学生たちが主体的に活動できる場として、赴任 1 年目にアルファあなぶきホールの協力のもと「きょうから音読名人!」を立ち上げました。昨年度は第 8 回のイベントが開催されるなど、毎年教育学部生に受け継がれてきました。ボランティアで集まった学生たちが、子どもたちのために試行錯誤を繰り返しながら企画・運営する姿を見て、これから教員を目指す者としてとても頼もしく思ったものです。



【第 1 回音読名人スタッフ】

そして 3 度目。今年 4 月より附属教職支援開発センター(旧教育実践総合センター)の教員としてお世話になります。4 月 1 日に教職センターの除幕式があり、これから始まる香川大学での生活に決意を新たにしました。毎日学内ですれ違う学生たちからの挨拶に、さわやかな心地よさを感じています。おそらく、これまでとはまた違ったたくさんの思い出が増えていくことでしょう。



【教職支援開発センター除幕式】

これからは、松楠会理事として、先輩の皆様のお力添えをいただきながら、香川大学教育学部のために微力ながら頑張っていきたいと思えます。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。